第１３６回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２８年７月５日提出）

１．題　目：コミュニケーションセミナー～アクティブラーニングのヒントを学ぶ～

２．日　時：平成２８年６月２３日（木）１３：００～１５：３０

３．場　所： 文教キャンパス総合教育研究棟２階　多目的ホール

４．主　催：ダイバーシティ推進センター

５．対　象：教職員/研究者/学生

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに〇を記入すること）
［　〇　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
ダイバーシティの考え方の基本となる「相手と自分が異なること」を理解したうえで、創造的に、また、双方にとって「WIN-WIN」となる解決策につながるコミュニケーションを実践的に学び、個々人のコミュニケーション力を高めるとともに、教員自らが体験的に学ぶことで自らの授業に活かせるアクティブラーニングのヒントを得、大学における教育および学内環境の改善に資することを目的として企画しました。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
題目：コミュニケーションセミナー～アクティブラーニングのヒントを学ぶ～
担当講師：早稲田大学紛争交渉研究所招聘研究員　鈴木有香　氏
１３：００－１５：３０　鈴木講師講演

９．参加者：３１名（うち、FD受講証明書発行対象者２９名、ほか学生２名）
（内訳）

所　　属	人　　数
教育学部	２名
工学研究科	４名
水産・環境科学総合研究科	１名
医歯薬学総合研究科	１１名
産学官連携戦略本部	１名
病院	１名
原爆後障害医療研究所	１名
大学教育イノベーションセンター	４名
ダイバーシティ推進センター	３名
キャリア支援センター	１名
計	２９名

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等
（１） 参加者からの評価（回答者３０名）

➢ セミナーの内容について
大変よかった（８０％）、良かった（２０％）
【自由記述】授業のヒントが色々と学ぶことができた／コミュニケーションやアクティブラーニングなどを授業に取り入れたいと思っていたので、大変勉強になりました／インタビューを実際に自分がすることで大変心が動かされました／色々な気づきがありました、ぜひ今後に役立てたい／具体的な例や実際体験することで、楽しみながらアクティブラーニングの基本を学べました／講義で活躍できそうな手法を学びました、楽しみながらファシリテートスキルと元気をもらった／ほか…

➢ 今後学びたい事やテーマについて
・専門分野別のアクティブラーニング
・今回同様に、授業に直結できるようなテーマ
・コミュニケーション
・教員と職員の協働の事例（他大学・私立など）
・日頃の講義や教育に生かせそうなもの
・発達障がいを持つ（もしくは、傾向のある）学生をどう育て、社会に送り出すか
・マネジメント
・立場や意見が異なるグループワークライフバランスでの意見の出し方、まとめ方

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

今回のセミナーは、教員の参加率が高く（２０名以上)、教員のアクティブラーニングへの関心が高かったことが伺えます。鈴木講師は、まず、机を使わず、椅子のみをサークル型に並べる講義形式で始め、ここは実験室であることのお話から参加者を惹き付けました。参加者は、周囲の人と２－４人グループを作っての様々なワークを繰り返すことで、自らがアクティブラーニングを体験し、こうしたワークの意味やワークから生み出される雰囲気、学習に対する効果を実感することができました。後半は、「日本調査団」と「バルーンバ人」との２つのグループに分かれ、「バルーンバ文化を探れ」という全体ワークを実体験し、参加者同士で感想や効果、授業等への応用等を意見し、共有する学びの時間となりました。

参加者アンケートでも、全員が、大変良かった・良かったという感想であり、自由回答欄においても、今回のアクティブラーニングの学びが有益であったこと、授業への応用を実践的に学ぶことができたとの感想が多く、参加者にとって今後の教育活動に資するものであったと考えます。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：ダイバーシティ推進センター
職　名：ダイバーシティ推進センター長/教授　氏　名：伊東　昌子
e-mail：masako@nagasaki-u.ac.jp　内　線：２３８３

１２．申請者の連絡先

部　局：ダイバーシティ推進センター
職　名：ダイバーシティコーディネーター/助教　氏　名：藤井　直子
e-mail：nfujii@nagasaki-u.ac.jp　内　線：３１５１